

2019年度（41期） 事業報告書

自：2019年4月 1日

至：2020年3月31日



公益財団法人 関西盲導犬協会

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

2019年度事業報告書
(2019年4月1日-2020年3月31日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬実働頭数(盲導犬ユーザー数)ならびに貸与者数

①盲導犬実働数(盲導犬ユーザー数)

| | 盲導犬実働数(頭) | 盲導犬ユーザー数(人) |
|-----------|-----------|-------------|
| 2019年度 実績 | 64 | 67 |
| 前年度からの増減数 | -5 | -5 |

※夫婦で1頭の盲導犬を使用する「タンデム方式」があるため、実働数とユーザー数は必ずしも一致しない。2019年度末は3組がタンデムユーザーである。

②2019年度貸与者

2019年度は7名の視覚障がい者に共同訓練を実施し、7頭の盲導犬貸与を行った。

| 番号 | 代替/新規 | 性別 | 都道 府県 | 犬名 | 犬種 | 性別 | 貸与日 |
|------|-------|----|-------|-------|----|----|-------|
| 7418 | 代替 | 女 | 埼玉県 | アイザック | LR | オス | 4月25日 |
| 7419 | 新規 | 女 | 兵庫県 | マックス | LR | オス | 7月8日 |
| 7420 | 代替 | 男 | 広島県 | ミルト | LR | オス | 7月12日 |
| 7421 | 代替 | 女 | 広島県 | ポルド | LR | オス | 7月22日 |
| 7422 | 代替 | 女 | 滋賀県 | ペリー | LR | オス | 8月9日 |
| 7423 | 新規 | 男 | 三重県 | シエル | F1 | オス | 2月4日 |
| 7424 | 代替 | 男 | 広島県 | アレックス | F1 | オス | 3月31日 |

(犬種: LR: ラブラドル、GR: ゴールデン、F1: ラブ×ゴールデン)

③盲導犬希望者への働きかけ

・共同訓練体験の実施

新規盲導犬希望者1名に対し、2泊3日で模擬的な共同訓練(体験訓練ならびに体験生活)を行った。

④行政ならびに関係団体との連携

各種イベントでの体験歩行を通し、新規希望者掘り起しのアプローチを継続した。

(2) 盲導犬ユーザーおよび盲導犬へのケア(フォローアップ)

①フォローアップ

盲導犬ユーザーが安全で快適な盲導犬歩行ならびに生活が継続できるよう各種フォローアップを継続実施した。実施総数211件(前年度212件)

内訳

- ・定期 63件
- ・ファミリーリゼーション 13件
- ・共同訓練直後 23件
- ・犬の健康管理 50件(高齢犬の健康診断を含む)
- ・犬の問題行動 29件
- ・その他 33件

②盲導犬へのケア

・医療費の助成

フィラリア症予防薬の購入費助成を継続するとともに、新たに狂犬病および混合ワクチン接種費

用の助成を実施した。

・高齢盲導犬へのケア

引退を間近に控えた9歳齢ならびに10歳齢の盲導犬に対する健康診断を当協会負担で継続実施した。

③行政その他との連携

盲導犬ユーザーの状況に応じて、該当ユーザーが居住する地域の行政ならびに福祉団体等と連携を取っている。

(3) 盲導犬貸与委員会の開催

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」を毎月1回実施した。

(4) 犬の育成とケア

①繁殖

2019年度の状況は次のとおりであった。

- ・出産頭数 44頭（うち38頭をパピーウォーカーに委託）
- ・他協会から譲り受けたパピー頭数7頭
- ・他協会へ譲渡したパピー頭数8頭
- ・所有繁殖犬頭数22頭（オス10頭／メス12頭）
- ・AGBN（アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク）の実務担当者会議に出席した。（2019年5月・11月）
- ・凍結精子作成用冷蔵庫の寄贈を受けたことにより、同作業の効率化および安定した凍結精子の作成ができるようになった。
- ・パピーの雄全頭に対し、生後9ヶ月から引き上げまでの様々な時期に凍結精液の作成を試みた。その結果、採精時期による精液の生存率には有意の差は見られなかった。

②パピーウォーキング

2019年度の状況は次のとおりであった。

- ・委託頭数 38頭
- ・巡回指導 210回
- ・パピースクール 30回（172家族対象・386名参加）
- ・パピースクールに訓練研修中の職員3名を関わらせた。
- ・全国盲導犬施設連合会主催の職員相互交流事業「パピーウォーキング」に、職員を出席させた。（2019年2月21～22日・於当協会）

③候補犬の訓練

- ・前年度からの在籍犬17頭に加え、今年度36頭、計53頭に対し訓練を実施した。
- ・1名の訓練士候補の職員を採用した。
- ・前年度採用の2名と合わせ、3名の訓練研修中の職員に対し、盲導犬訓練士資格取得を目指した研修を継続している。
- ・訓練および木香テラスでの犬のケアを充実させるため、テラス担当のパート職員1名を採用した。
- ・訓練犬の健康状態をより良好に保つため、京都市獣医師会と連携して、木香テラスでの定期診察を継続実施した。（月2回）

④リタイア犬のケア

2019年度の状況は次のとおりであった。

- ・リタイア犬頭数61頭
- ・盲導犬慰霊祭「偲ぶ会」を開催（2019年10月6日）
- ・リタイア犬の医療費、療法食フード、火葬費の助成を継続した。（4,497,737円）

(5) 訓練部職員の養成とスキルアップ

①他施設への派遣

- ・訓練研修中の職員2名を韓国サムスン盲導犬育成学校に派遣し、「クリッカー訓練」を研修させた。(2019年9月16日～20日)

②各種研修会への派遣

全国盲導犬施設連合会主催の研修会等に訓練士、歩行指導員ならびに関係職員を派遣した。

- ・第5回盲導犬育成ジャパンセミナー(2019年2月5日～7日・於日本盲導犬協会神奈川訓練センター)
- ・職員相互研修事業「パピーウォーキングについて」(2020年2月22日～23日・於当協会)

(6) フレンドドッグ事業

ボランティア11名の協力を得て、リタイア犬ならびにキャリアチェンジ犬をとめない、延べ100件の高齢者・障がい者施設、ホスピス病棟へのフレンドドッグ活動を実施した。内訳は以下の通りである。

- ・高齢者施設 延べ87件
- ・障がい者施設 延べ11件
- ・ホスピス 延べ2件

(7) 調査研究

京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続している。

1-2. 相談事業

(1) 盲導犬事業に関する苦情・相談等への取り組み

2019年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数31件で次の通りであった。

①入店・利用拒否および受け入れに関する相談 16件

- a. 飲食店 6件(うち5件が入店拒否、すべて解決済み)
- b. 施設見学 4件(うち3件が利用拒否、すべて解決済み)
- c. 公共交通機関 4件(うち2件はユーザーに対する不適切な対応、すべて解決済み。他2件は乗客からの暴言と暴行。1件は対応済み、1件は継続対応中)
- d. 宿泊施設 1件(宿泊拒否、解決済み)
- e. 民間集合住宅 1件(入居拒否、解決に至らずユーザーが転居)

②ユーザーへの対応についての相談 4件

- ・スーパーマーケットの客からユーザーが犬を触った手で食品に触れることについて 1件
- ・分譲マンション居住者から盲導犬受け入れに必要な設備について 1件
- ・通院患者からユーザーが盲導犬を同伴して通院することについて 1件
- ・通行人からユーザーが手すりを使わず階段を降りることの危険性について 1件

③ユーザーの盲導犬への不適切な扱いに関する相談 10件

- ・盲導犬への虐待 3件(うち2件は他協会ユーザーのため該当協会に連絡済み、1件は既に盲導犬が引退していたため対応を見送った。)
- ・暑い中での移動 3件(夏の外出について説明をし、理解が得られるよう努めた。)
- ・排泄ベルト、ジェントルリーダーの使用について 2件(うち1件は他協会ユーザーのため該当協会に連絡済み、1件については指導員がフォローアップ継続中。)
- ・盲導犬の不適切な管理について 2件(うち1件は他協会ユーザーのため該当協会に連絡済み、1件は該当者不明)

④その他の相談 1件

- ・「盲導犬により怪我をした」との主張で、ユーザーが損害賠償を請求された 1件(現在、

保険会社による対応継続中)

(2) 行政窓口・他団体との連携

- ・盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情について全国盲導犬施設連合会と連携し、また盲導犬受け入れについて解決した事例について、それぞれ行政窓口に報告した。
- ・全国盲導犬施設連合会が主催する「クレーム対応向上研修会」に職員を派遣した。
(2020年1月21日～22日・於連合会事務局)

1-3. 啓発普及活動

(1) 啓発普及活動

①盲導犬ならびに視覚障害に関する普及啓発

以下の内容での啓発活動を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2月下旬以降の講演・イベントの開催はすべて中止となった。そのため、昨年度に比べ、開催回数・参加人数等が減少した。

a. 講演活動(学校・企業・社会奉仕団体等からの依頼)

- ・学校での講演活動 77件(うち70件は盲導犬ユーザーが講演)
- ・イベントならびに社会奉仕団体等の例会、企業研修等での講演 49件(うち15件は盲導犬ユーザーが講演)

b. 視覚障がい者に対する盲導犬体験歩行を行った

- ・6月3日 長岡京市視覚障害者協会
- ・8月3日 高知県立盲学校
- ・9月12日 愛媛県立松山盲学校
- ・9月15日 向日市視覚障害者協会
- ・9月29日 ルミエールフェスタ(高知県)
- ・10月5日 あい丹後ふれあいまつり
- ・10月27日 京都ライトハウスまつり
- ・12月6日 県視協まつり(兵庫県)
- ・1月24日 大津視覚障害者協会

c. 視覚相談会(主催 京都府身体障害者更生相談所、5回)

- ・開催地 京田辺市、峰山町、福知山市、南丹市、精華町

d. 定例見学会

- ・8回開催
- ・312名参加(昨年度比106名減)

e. 団体見学

- ・43件909名参加(昨年度比8件減・177名減)

f. 機関紙「ハーネス通信」の発行(4・7・10・1月発行)

g. ソーシャルネットワークを活用し情報発信に努めた。

(2) 協会主催ならびに共催イベント

①協会主催イベント

- ・4月29日 オープンデー(参加者約500名)
- ・10月6日 偲ぶ会(慰霊の日)
- ・11月3日 ボランティアズデー(亀岡総合運動公園)

②京都府の視覚障害者団体の共催イベント

- ・8月31日 白杖安全デー
- ・2月5日～8日 あい・らぶ・ふえあ

③安全な鉄道利用を実現するための鉄道会社との連携

- ・JR西日本サービス介助士養成講座に、講師として職員とユーザーを派遣した。（12回実施）

2. 管理部門

（1）安定した事業運営のための取り組み（2019年3月末日現在）

①賛助会員

| | |
|----------|--------------------|
| 総賛助会員数 | 1, 242件（前年度実績58件減） |
| ・後援会員 | 30件（前年度比 1件増） |
| ・法人会員 | 29件（前年度比 1件減） |
| ・正会員 | 1, 110件（前年度比54件減） |
| ・マンスリー会員 | 69件（前年度比 4件増） |
| ・青少年会員 | 4件（前年度比 8件減） |

②募金箱

- ・設置件数 1, 704件（前年度実績1, 784件）
- ・回収金額 10, 540, 043円（前年度実績11, 132, 280円）

③街頭募金

- ・実施回数 82回（前年度実績32回）
- ・募金金額合計 6, 743, 918円（前年度実績3, 224, 710円）
- ・「クイールの会」会員をはじめとするボランティアならびに学生の協力を得て実施した。
- ・前年度より実施回数を増やしたものの、新型コロナウイルス感染拡大のため、年度末の実施は自粛せざるを得なかった。

④募金型自動販売機

- ・設置台数 73台（新規2台・撤去2台）
- ・協力企業 関西キリンビバレッジサービス(株)・アサヒ飲料販売(株)・(株)ジャパンビバレッジウエスト・他4社

⑤管理部門業務の整備

法律に則った規程の改訂ならびに業務の見直しを図り、支出の削減に努めた。

3. 施設整備計画

（1）施設の改修等

①既存棟の施設整備計画案の作成

旧犬舎の改築を含め、建物周辺エリアの活用ひいては当協会の将来像を検討する職員会議を継続した。

（2）備品購入等

特になし。